

2021食育の取り組み「SDGsと給食」

[活動の狙い]

SDGsの取り組みのひとつである『食品ロスの削減』と『プラスチック廃棄量削減』に関連付け、給食の残食量の削減を目標に、食の大切さと食事の選択について学ぶ



[取り組み内容]

①幼児クラスを対象に「お残し減らそうキャンペーン」を9月より開始。

残飯バケツに線を引きその日の残飯が引かれた線より少なかった場合、クラスに貼り出したスタンプカードにスタンプを押し、ゴールすると給食リクエスト権がもらえる。



②野菜の切れ端を再利用。

持ち帰っても繰り返し使えるように丈夫な紙袋を使用し、夏祭りのお土産用マイバックを制作。野菜の切れ端を使ったスタンプで自由に飾り付けを行った。



[子どもの反応]

オリジナルのお土産マイバックを制作したことで、当日はとても楽しそうにお店でもらった景品を入れていた。

また、使ったスタンプがどんな野菜なのか興味を持ち、給食の中にどのような食材が使われているか興味を持つようになった。リクエストもラーメンやポテトサラダ、かきたま汁などの料理から、れんこん食べたい！など食材をリクエストする園児もいた。

スタンプを押すことへの楽しみとゴールすることの達成感から、日々の残食量を気にするようになった。苦手な料理も一口ずつ食べられるようになり、12月時点で4月と比較し残食量は半分以上減った。

[取り組んだ感想]

今回この取り組みを行い、4月には低かった食への興味・関心が深まったと感じた。

また、自分が食べられる量を園児ひとりひとりが知ることで、残食量の減少につながった。